

郷土資料館 ふるさと講座・歴史系第2回目の様子

「別海町歴史文化遺産を巡る（旧国鉄標津線跡編）」

●日 時 令和6年6月29日（土）午前9時～12時30分

●場 所 平系・上春別・西春別・光進泉川地区

（集合・解散：郷土資料館）

●日 程 ①「旧国鉄標津線平系駅跡」②「在日米軍偵察爆撃機 RB29 プロペラブレード」
③「旧国鉄標津線上春別駅跡」④「別海町鉄道記念公園・記念館」（旧西春別駅）
⑤「旧国鉄標津線光進駅跡」⑥「旧国鉄標津線泉川駅跡」

●参加者 7名

●講座の様子

郷土資料館玄関前に集合後、公用車にて①～⑥の順で見学し、標津線の成り立ち、各駅の当時の設置に関わるエピソード、保存の経緯などを説明しました。

平系駅跡では皇紀が刻印されている古レールが駅のホームに使用されていること、上春別駅跡では、上春別市街から離れていることから、町外の乗客が下車後に苦労したこと、西春別駅などは、計根別飛行場が付近に設置され戦争との関りが極めて強かったこと、泉川駅跡では、駅舎や市街地が形成されていたが、現在は、雑草が生い茂る原野となっているなど、その変わりように時代の流れを感じることが出来ました。

現地での詳しい説明により、町歴史文化遺産に対する理解が深まりました。



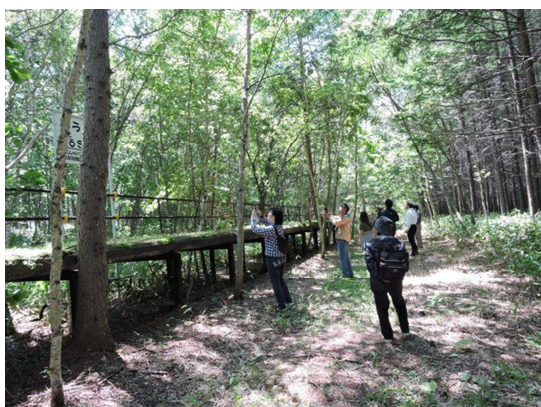
旧平系駅跡



旧上春別駅跡



旧西春別駅
別海町鉄道記念公園
記念館



旧光進駅跡



旧泉川駅跡